

ザ・インパクトランキング 2023 発表 — 北大は国内依然トップも下落傾向 —

2023年6月1日に Times Higher Education から今年のインパクトランキングが発表されました。ザ・インパクトランキングは、国連がSDGsで掲げる17の目標に対する大学の達成度を評価するものですが、実際にはSDG17と他に点数の高い3つの項目（表中下線部）の合計点でランク付けするものです。昨年10位だった北大は、今年は22位で依然として日本の大学ではトップですが、昨年1位だ

ったSDG2が68位になり、その他の項目も現状維持か下落傾向にあります。さらに問題なのは、高スコアを見込めないSDG1,4,5,8,10には北大はエントリーすらしていないことです。高スコアを望めそうな項目にリソースを集中することを危惧します。職組としては、労働環境の改善を目標としたSDG8をはじめ、全ての項目にエントリーし、経営努力をするように求めていきます。（執行委員長・山田）

SDGs	目標名	2021年スコア	2021年項目別順位	2022年スコア	2022年項目別順位	2023年スコア	2023年項目別順位
1	貧困をなくそう	未エントリー		未エントリー		未エントリー	
2	飢餓をゼロに	78.9	15位	91.4	1位	70.6	68位
3	すべての人に健康と福祉を	57.6-63.8	301-400位	68.7-73.8	201-300位	68.3-73.4	201-300位
4	質の高い教育をみんなに	未エントリー		未エントリー		未エントリー	
5	ジェンダー平等を実現しよう	32.3-43.1	401-600位	未エントリー		未エントリー	
6	安全な水とトイレを世界中に	40.9-48.9	201-300位	69.0	92位	68.5	95位
7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	38.6-46.9	301-400位	55.2-61.0	201-300位	56.2-61.7	201-300位
8	働きがいも経済成長も	未エントリー		未エントリー		未エントリー	
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	95.0	47位	95.7	43位	96.2	45位
10	人や国の不平等をなくそう	43.0-49.5	301-400位	未エントリー		未エントリー	
11	住み続けられるまちづくりを	61.9-72.6	101-200位	69.2-78.6	101-200位	60.1-67.0	201-300位
12	つくる責任つかう責任	56.8-69.9	101-200位	64.4-75.5	101-200位	66.8-76.6	101-200位
13	気候変動に具体的な対策を	36.1-47.9	201-300位	54.7-66.0	101-200位	56.6-66.3	101-200位
14	海の豊かさをまもろう	63.1	82位	89.0	15位	83.2	27位
15	陸の豊かさもまもろう	64.7	94位	90.0	18位	90.0	17位
16	平和と公正をすべての人に	未エントリー		82.2	61位	63.7-69.9	201-300位
17	パートナーシップで目標を達成しよう	56.3-64.7	301-401位	97.7	12位	90.8	53位

上げろ最低賃金 1500 円をアピール

全労連東北地方協議会・道労連は5月23日、東北・北海道ブロック最賃キャラバンの一環として、札幌パルコで最低賃金の大幅引き上げを求める街頭アクションをしました。

「上げろ 最低賃金¥1500」の赤いTシャツで、「物価高騰に見合う最低賃金アップを」の横断幕やプラカードを掲げ、チラシを配布しながらアピールを行いました。道労連の三上友衛議長は、「時給1500円はとっぴな額ではなく月24万～25万円程度。自立して子育てをしていくスタートラインにはこのくらい当たり前です」と訴えました。立ち止まり、チラシを受け取り「頑張ってる」と声をかけてくれる方もおられました。

（書記局・大島）

物価高騰から生活を守る大幅賃上げを 求める署名にとりくみましょう！

コロナ禍やロシアのウクライナ侵攻、急激な円安などの影響で消費者物価・電気代が急騰し、実質賃金のマイナス傾向が続いています。こうしたものと全労連・国民春闘共闘・公務部会は2023年人勧へむけて「物価高騰から生活を守る大幅賃上げを求める署名」を官民一体で取り組もうとスタート集会を開催しました。

この署名は労働者・住民が安心して働きらせる社会を実現するとともに、良質で安定した公務・公共サービス、教育を提供するためにも、23年人事院勧告において要求を実現するものです。多くの教職員から署名を集めましょう。

（書記局・大島）

今年も定期大会を成功させましょう！

(そしてそもそも定期大会はなぜ必要か?)

2023年度定期大会を7月29日(土)にオンラインで開催いたします。各班に置かれましては後日にお知らせする代議員の選出をどうぞよろしくお願いいたします。またこの定期大会ですが、実は成功させないと労働組合が労働組合ではなくなってしまうため、今回はそのあたりの事情をQ&Aにまとめてみました。こういう理由で代議員の選出と大会への参加は必ず必要ですので、組合員皆様のご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

Q1. そもそもどうして定期大会は必要なのか？

A1. 定期大会を開かないと労働組合として認められません。

労働組合には毎年1回、定期大会(総会)を実施する法律上の義務があります。この義務を怠っても、労働組合を名乗ることはできます。しかし、この義務を怠ると「不当労働行為の救済申立て」を行える労働組合ではなくなってしまう。そうすると例えば、大学が団体交渉を不当に拒否し続けることが可能となり、労働組合の機能が根本から停止してしまいます。このように、定期大会の実施は労働組合として絶対に必要となります。

Q2. 組合員をわざわざ招へいせずに役員等だけで実施すればよいのではないか？

A2. 労働組合は組合員が民主的に参加できない場で意思決定を行えません。

労働組合には「自主的かつ民主的な組織運用」が義務付けられています。これを怠るとやはり救済申立てが行える労働組合ではなくなってしまう。このため、その意思決定の場である定期大会は特に、労働組合が自分たちで自主的に実施し、構成員である組合員が民主的に参加できる場ではなくてはならず、役員等だけで組合の意思決定を行うことは認められません。なお民主的な参加について、代議員制度を取ることは法律で認められています。

Q3. 北大職組での定期大会のルールどうなっている？

A3. 次の北大職組規約に基づいて毎年度大会を実施しています。

【第15条】大会に参加できる代議員は班ごとの組合員5名につき1名(端数切り上げ)とし執行委員は代議員になれない。

【第16条】大会では「前年度活動報告」「次年度運動方針」「予算と決算」「次期選挙管理員の選出」等を議決する。

【第17条】大会は7月に実施する。

【第18条】大会は代議員の過半数の出席で開催でき出席代議員の過半数で議事を議決できる。

以上により定期大会を成功させないと労働組合が労働組合でなくなりますので、各班より代議員を選出して今年も必ず成功させましょう！ (書記長・岡坂)

宿舎問題第4回学習会 2023年7月5日(水) 18:30~Zoom

日時:2023年7月5日(水)18時30分から19時30分まで(予定)

内容:救済申立と宿舎に関する現状報告(宿舎問題WGより)と総合討論

北大職組は、昨年12月、宿舎廃止をめぐる大学の不誠実団体交渉と団交拒否に対して北海道労働委員会へ救済申立てを行いました。6月末ま

で3回行われた調査期日を踏まえ、組合の主張と大学側の反論の問題点を検討し、今後の方針について議論します。(詳細はHPを参照)



卵不足はいつまで続く？

最近、スーパーで卵が買えない経験をされた方は多いと思います。この理由は、今年4月上旬に北海道の採卵養鶏場で相次いで高病原性鳥インフルエンザが発生し、大量の鶏が殺処分されたためです。わずか2週間あまりで120万羽、北海道全体の20%以上の鶏が失われました。未感染鶏も含め、農場の全羽を殺すのはかわいそうですが、放置するとヒト-ヒト感染の新型インフルに変異する可能性もあり、容赦できません。

北海道で消費される卵は、ほぼ道内で作られています。陸続きの本州と異なり、「離島」なので、他地域から卵を持ってくるのはコスト面などで困難です。しかも本州でも鳥インフルで殺処分が相次ぎ、卵は潤沢にありません。



道内の卵流通が元通りになるまで、実に1年以上とされています。採卵鶏は生後5か月から2歳くらいまで産卵します。5か月後ではなく、なぜ1年以上かかるのか。一斉に120万羽の鶏を入れてしまうと、2年後の産卵期間の終わりに120万羽を一斉に更新することになり、また卵不足になってしまいます(120万羽一斉に雛導入も困難という事情もあり)。そのため、鶏舎単位(約10万羽)ずつ、少しずつ時期をずらしながら鶏の数を増やしていく必要があります、時間がかかるのです。

しかし、次の冬に再び鳥インフルが発生する懸念があります。卵不足や飼料高で卵価格は急上昇しています。安い卵が潤沢にある状態は当たり前でなくなりつつあります。

(農学部班・清水池義治)

【当面する行事など】

詳細は北大職組ホームページ「[諸団体の行事](#)」からご覧ください。

- 6/17 金平茂紀講演会 13:30～
- 6/26 執行委員会 18:30～
- 6/27 宿舍問題北海道労働委員会第3回調査期日
- 6/28 総長解任取消訴訟証人尋問① 10:30～16:30
- 6/30 第8回情報公開学習会 18:30～Zoom
- 7/2 レクリエーションさくらんぼ狩り(仁木町、余市町)
- 7/2 非正規公務員のオンラインミーティングⅡ
- 7/4 役員選挙投票開始～7月13日(木)
- 7/6 北大情報不開示取り消し請求訴訟⑨ 9:30～
- 7/6 道公務共闘・北海道国公人事院交渉
- 7/10 執行委員会 18:30～
- 7/11 いちの日行動 18:20～JR札幌駅南口広場
- 7/22 全大教定期大会 10:00～
- 7/23 道労連定期大会
- 7/26 総長解任取消訴訟証人尋問② 10:30～16:30
- 7/28 北海道国公人事院交渉 16:00～
- 7/29 定期大会 9:30～

**レクリエーションを
楽しみましょう!** **7月2日(日)**

さくらんぼ狩りはいかが?

基本的に現地くだもの笠井園10時30分頃集合です。
お酒を飲む方はJRで、大人片道1,290円です。自家用車でもOKです。
笠井園ではJR仁木までのお迎えですが、徒歩10分なので歩くのはいかが。

<スケジュール>
JR札幌 8:45⇒仁木 10:09 又は自家用車
10:45頃～さくらんぼ狩り(中学生以上1000円、4歳以上800円) ホーム
ページ
移動:JR仁木 12:26発⇒余市 12:30着 各自昼食等
14:00頃～ニッカウチスキー見学(山田委員長の解説) & 余市駅周辺探索
JR余市 16:47⇒札幌 18:03 又は JR余市 17:39⇒札幌 18:56

**くだもの
笠井園** Tel: 0135-32-2507
http://www.13.plala.or.jp/fruits_kasaien/
仁木町北町3-94

組合が組合員と家族、組合加入候補者のさくらんぼ狩り代を負担します。
交通費は自前でお願います。
(他での補助も検討ください)。
参加申込は書記・班書記長に6月27日までに、メール又は電話でお知らせください。

北海道大学教職員組合 内線: 2083, 3894 直通: 011-746-6967
メール: kumise@hokudai-shokuso.sokorin.jp

組合員の親睦を深めるため、7月2日(日)に、仁木町「くだもの笠井園」でのさくらんぼ狩りのレクリエーションを企画しました。組合員とその家族、組合加入候補者のさくらんぼ狩り参加費は、組合が負担します(仁木駅までの往復交通費は各自でご負担をお願いします。自家用車で現地まで行かれても結構です)。ぜひご参加ください。班によっては、このレクリエーション参加のために(現地までの交通費など)追加の補助をする計画をお持ちの班もあるかもしれませんので、班書記長にお問い合わせください。

組合員を増やし、労働条件・職場環境改善を進めましょう